

登録コード	TS242600	開講年度	2026				
授業科目	航空機電気電子システム演習					担当教員	曽根原 誠
英文授業名	Aircraft Electrical and Electronic System Tutorial 2					副担当	菊池 良巳・小松 勝彦
単位数	2	講義期間	不定期	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	航空機システム共同研究講座に所属する機械システム工学分野2年生
講義室				授業形態	演習	備考	
信大コンピテンシー 該当							
(1)授業の達成目標	【授業で得られる「学位授与の方針」要素】					【授業の達成目標】	
	2 4 TSカリ, 2 3 TSカリ						
	【研究科共通】環境調和社会, 知識基盤社会を多様に支える高度な専門知識と実践的技術力					航空機における主に電気・電子技術や, 次世代の航空機産業を支えるための技術に関する知識を演習を通じて理解できるようになる.	
	2 6 TSカリ, 2 5 TSカリ, 2 4 TSカリ, 2 3 TSカリ						
	【専攻】専門知識に基づいて自らの思考や妥当性を論理的に説明できる批判的思考力					航空機における主に電気・電子技術や, 次世代の航空機産業を支えるための技術に関する知識を演習を通じて理解できるようになる.	
(2)授業の概要	航空機における主に電気・電子技術を学習した後, 次世代の航空機産業を支えるための技術を念頭に『修士2年生時の修士論文の研究』を通じて研究・開発する.						
(3)授業計画	時間の目安として, 単位数が4単位であるので180 hの学修が最低限必要となる. ただ180 hでは修士論文の研究を遂行するには全く不十分である. 大学卒業で一般企業や行政組織に就職した場合, 8 h/日 × 5 日/週 × 50 週/年 = 2,000 h程度が一般的な勤務時間であり, 修了後の社会人生活を見越して, 2,000 h程度を本授業科目も時間の目安とする.						
(4)成績評価の方法	・修士論文の研究の進捗について総合的に判断する.						
(5)成績評価の基準	・【授業の達成目標】に記載の内容に対して, 合格水準にあれば60点以上70点未満, 前記よりもやや上にあれば70点以上80点未満, 前記よりもかなり上にあれば80点以上90点未満, 前記よりも卓越していれば90点以上とする.						
(6)事前事後学習の内容	・主に(4)成績評価の方法に記載の内容に対して, 教員や同席の学生からのコメントに対して適宜追加実験や参考文献の調査などをして, 次回の発表までに回答できるようにする.						
(7)履修上の注意	・実験中の事故には十分注意すること.						
(8)質問,相談への対応	・履修登録後に別途連絡する.						
(9)その他							
【教科書】	・指定しない.						
【参考書】	・指定しない.						